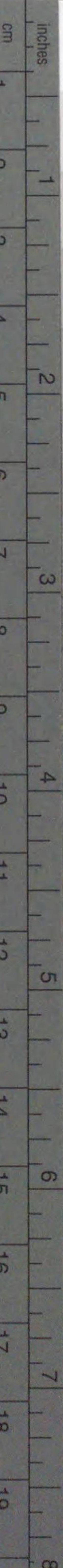


Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

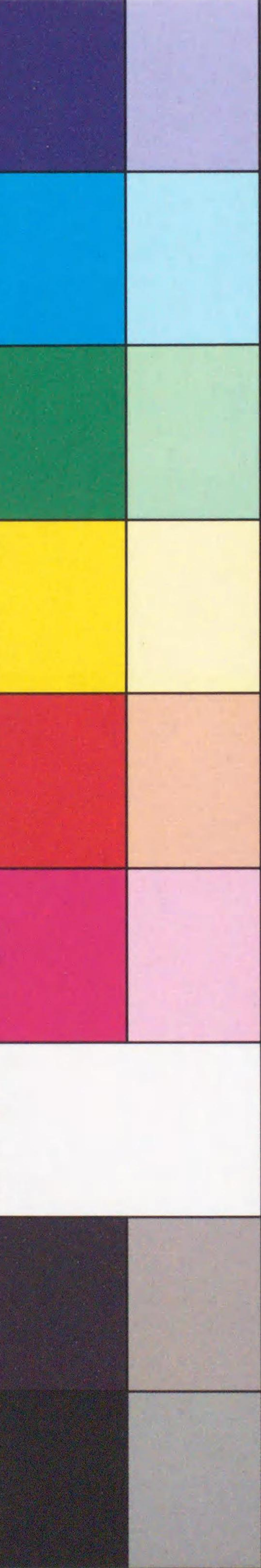


© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



Y994  
J8091

昭和五年

朝鮮風水害誌

朝鮮總督府

342  
111



Y994  
J8091

凡例

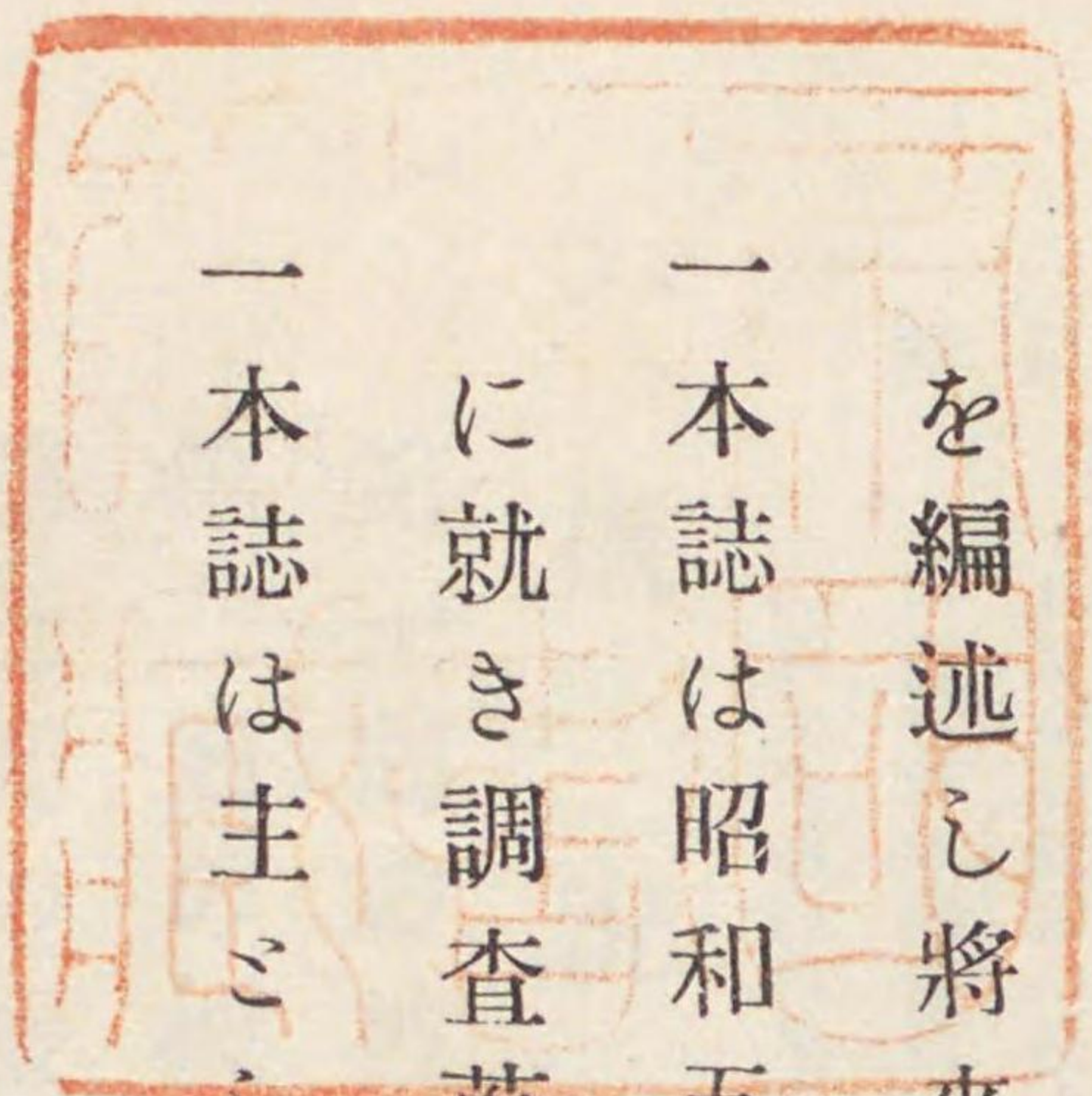
一 昭和五年の風水害は朝鮮未曾有のものなるを以て之が概況を編述し將來の参考に資せんとするものなり

一本誌は昭和五年六、七月中に惹起せる數回の水害及風害全部に就き調査蒐録せり

一本誌は主として罹災者救恤方面より觀察編纂せるものなり

昭和六年六月 日

朝鮮總督府内務局社會課



I種  
W









三、耕地及農作物に關する被害	七
四、山林の被害	一〇
三、皇恩優渥	
侍従の御派遣、救恤金の御下賜	二
四、罹災者の救助	
一、直接救助	三
二、間接救助	五
五、義捐金品の募集と分配	
六、救濟實施計畫（附罹災者移住狀況）	
○附 録	
一、義捐金百圓以上の寄附者調	二五
二、各地の雨量（六月下旬より七月中旬に至る分）	二九
三、重なる河川の水位調	三一



式達傳旨聖るけ於に室議會一第府本時十前午日一十三月七  
 （氏雄秀玉兒爵伯監總務政は左・氏吉幸田江海爵子使勅は右）



朝鮮總督府

右令般管内風水害、

為損害不尠趣被

聞食御救恤トシテ

天皇

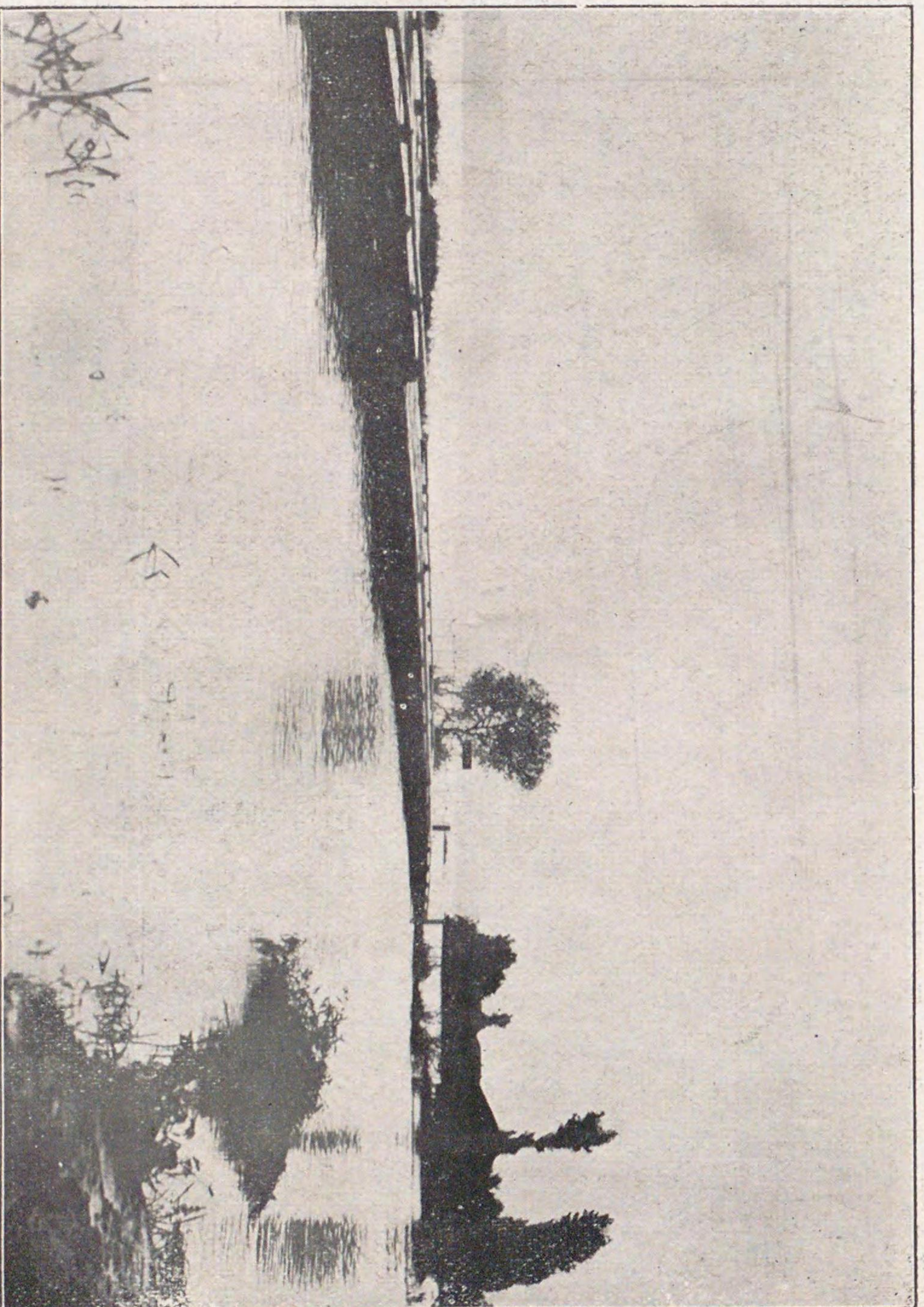
皇后兩陛下ヨリ金參萬圓

下賜候事

昭和五年七月二十八日

宮内省

御下賜金御沙汰書



水狀泥寫(其一) 忠清南道江景・扶嶽佛岩附近浸狀水





況状水浸の前驛堤金道北羅全

(二の其)眞寫況状害水



況状壊倒屋家るけ於に面山高郡州全

(三の其)眞寫況状害水





洞栗大面溪岳郡威軍道北尙慶  
 央中の落部同の痕の過通浪津山

(四の共)真寫況狀害水

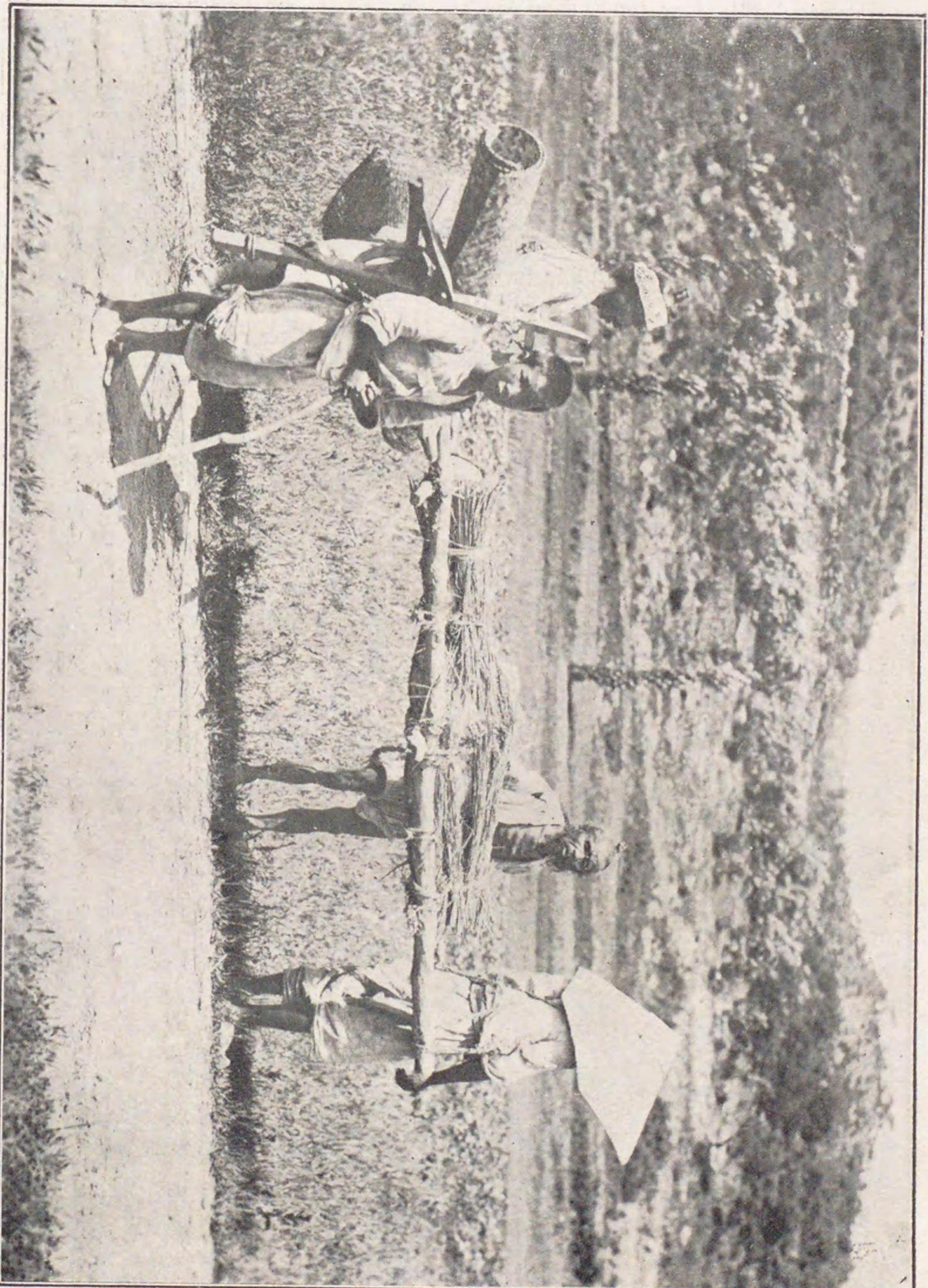
(七月十五日午後五時頃山鳴と共に俄然津浪を起し約二十分にして岩石土砂の崩壊及激流の爲家屋の倒壊、流失七十餘戸死者及行衛不明六十二名を出せり)



況狀の掘發體屍民落部上同

(五の共)真寫況狀害水





況 狀 搬 運 體 屍 上 同

(六の其)眞寫況狀書水



(七の其)眞寫況狀書水



(八の其)眞寫況狀書水

屋家壞半の民田火るけ於に里源桃面周水郡越寧道原江



## 昭和五年風水害誌

### 一、概況

朝鮮に於ては毎年七、八月の交霖雨ありて連年多少の水害を齎すを例とせり然るに本年は稍其の時期を早め六月下旬に於て南鮮地方に豪雨あり忠清南道、全羅南北の三道に相當劇甚なる被害を及ぼし引續き七月中旬に至る間南鮮地方は勿論朝鮮中部より北鮮地方に亘り繼續的豪雨あり加ふるに日本海に面したる慶尙南北、江原、咸鏡南北の五道海岸地方に於ては強烈なる暴風雨襲來し河川溪谷の汎濫、山崩、海嘯等隨所に起り江原道を首位とし慶北、咸南、全北、忠南、慶南、忠北、京畿、全南之に亞ぎ何れも相當の慘害を蒙り其の廣袤實に壹萬四百十五方里の廣汎なるに至り全鮮中漸く其の災害を免れ得たるは平安南北黄海の三道に過ぎざりき而して之が罹災の經過を見るに六月下旬に於ては南鮮、七月上旬に於ては南鮮及中部地方に數回の豪雨あり七月中旬に於ては中部及東鮮北地に暴風雨來襲し何れも二回乃至三回の災害を蒙り爲に被害の程度遞増し罹災民の窮狀其の極に達し朝鮮未曾有の慘害を惹起するに至りたり今左に其の詳細を記述すべし

#### 第一回の被害 (六月下旬)

六月十九日南支那に現はれたる低氣壓は徐々に其の進路を東海北部に採り六月二十一日夕濟州島附近より更に東北に換へ山陰の海岸を掠め朝鮮南部海岸に進入し全羅南道地方に豪雨を降し越へて六月二十四日朝安徽省方面に現れたる低氣壓竝に六月二十六日及三十日揚子江流域に生じたる低氣壓は徐々に黄海に入り南鮮地方に進入して六月二十八日九日の兩日は全羅南道三十日及三十一日竝七月一日及二日は全羅北道、忠清南道の兩道に豪雨を來し爲に全南榮山江、全北萬頃江、東津江及



南大川、忠南錦江等の各河川一時に汎濫し流域一帯の耕地は勿論都邑、村落等の浸水甚だしく人畜の死傷、家屋の流失、倒潰、交通通信機關の破損、堤防の決潰等隨所に起り恐るべき慘害を惹起したり

第二回の被害 (七月上旬)

七月四日午前六時支那山東地方より進路を北東に轉じたる颱風は渤海灣に入りて(七四五耗)を示し一時滿洲北部に停滯七月五日日本海西部に(七四九耗)の副低氣壓を誘發し更に七月六日小笠原方面に(七五九耗)の高氣壓生じ之等は何れも朝鮮半島に入りて中部及南鮮地方は朝鮮特有の雨季の状態を持續し七月三日より六日に至る間相當の豪雨あり爲に京畿、忠北、忠南、全北、慶北の各道に於ては相當の被害を蒙りたり殊に全北、忠南の二道は再度の豪雨に會し前回の被害を更に増大せしむるに至りたり

第三回の被害 (七月十三日)

七月十二日千島に(七六〇耗)小笠原に(七五八耗)の高氣壓在り滿洲には(七四四耗)の低氣壓停滯し臺灣附近より(七四五耗)の颱風北西に移動し朝鮮に於ては諸所に降雨を催し京仁地方は雷雨となる越へて七月十三日滿洲北部に(七四六耗)の低氣壓停滯し小笠原島附近の高氣壓は西部に(七五八耗)を示し爲に中部朝鮮は未曾有の豪雨となり京畿、忠北、忠南、全北、慶北、慶南、江原の七道に亘り河川の汎濫、山岳の崩潰等諸所に起り甚だしき慘害を惹起するに至りたり

第四回の被害 (七月十八日)

七月十八日午前六時高氣壓は「オコック」海に於て(七六二耗)を示し(七一〇耗)の猛烈なる颱風は長崎附近に襲來し一時間三十キロの速力を以て北東に移動し來り吾朝鮮は南部より北部に向つて其の襲來を受け日本海に面したる各道の海上は時化

陸上は暴風雨となり沿岸の漁村、出漁中の船舶は勿論日本海沿岸には避難すべき良港を缺きたるが爲寄港中の船舶と雖甚だしき慘害を蒙り人畜の死傷、行衛不明、家屋船舶の流失破損等夥しき數に上り陸地部に於ては河川再度の汎濫により前記の被害を更に増大せしめたり而して今回の被害最も激甚を極めたるは江原道にして咸南、慶北、慶南之に亞ぎ就中江原道の如きは十三日の災害未だ十分調査すら之を爲し能はざるに今回の慘害を蒙り道内の交通通信機關全滅に近く罹災後十餘日を経るも尙交通杜絶の箇所多く甚だしき混亂を呈したり

今仁川觀測所に於て調査したる主要地の降雨量を示せば左の如し

地名	六月 (自三十日 至三十日) 耗	七月 (自一日 至十五日) 耗	計 耗
京城	三三三	七〇一	七三四
全州	二二二	二七八	四九〇
大邱	九九	一〇三	二〇二
釜山	二八三	四六	三二九
木浦	二六四	一〇	二七四
平壤	一〇	二〇七	二一七
元山	一	二二〇	二二一
江陵	二九	一六一	一九〇
咸津	一五	六一	七六

今回の豪雨は降雨期極めて短時間なると場所に依り甚だしく差等あり一例を示せば全北井邑郡泰仁面の如き七月十一日の數時間に於て三百三十耗の降雨ありたるが如き狀況なるを以て右表に依り全般の雨量を推定するは至難なるべし



### 二、被害の状況

#### 一、人・家屋及船舶の被害

今回の惨害は前記の如く前後四回に亘り相當短期間に於て突發し而も同一地方に於て殆んど引續き二回乃至三、四回の被害を蒙りたる箇所多く殊に被害最も激甚を極めたる江原道及慶尙北道軍威郡地方は何れも交通不便なる山間部落にして救助の徹底を期し難く爲に被害激増したるものなり其の實數を示せば左の如し

道名	人			家			屋			船		
	死亡者	行衛不明	負傷	流失	失全	潰半	潰浸	水	流失	波没	全潰	破損
京畿	五	四	二	六	五九	三三	二、〇〇九	七	—	—	—	—
忠北	三	五	三	二	一三	二九五	一、二七	—	—	—	—	—
忠南	二	八	二	四	四一	五七五	四、四一四	—	—	—	—	—
全北	四	—	—	—	—	—	一三、三七七	—	—	—	—	—
全南	二	—	—	—	—	—	一、四三七	—	—	—	—	—
慶北	—	—	—	—	—	—	二、〇七八	—	—	—	—	—
慶南	—	—	—	—	—	—	九三	—	—	—	—	—
江原	—	—	—	—	—	—	三、八四二	—	—	—	—	—
咸南	—	—	—	—	—	—	五、三三四	—	—	—	—	—
咸北	—	—	—	—	—	—	一、九五	—	—	—	—	—
計	八五	八八	一、〇三	二、七九	四、八〇五	六、九三三	三四、七三三	四七	—	—	—	—

而して今回の災害による死亡者及行衛不明者は合せて一千六百八十三名の多數を算し之を朝鮮未曾有の大水害と稱せられ其の被害區域全道に及びたる大正十四年の死亡者及行衛不明者八百二十一名なるに比較するときは其の被害區域反つて狭小なるに不拘八百六十二名を増加したるものにして如何に惨害の激甚なりしかを想起し得べし尙今回の風水害は特に局部的に惨害を極めたるもの多く就中江原道寧越郡水周面の如きは一面にして死者行衛不明者百七十七名の多きに達し又慶尙北道達城、軍威、漆谷、永川の四郡界に在る八公山崩壊し五箇面内の數箇里に於て死者行衛不明者百五十名負傷者四十八名を出したるが如き其の惨狀眞に見るに忍びざるものありたり

#### 二、土木に關する被害

道路、橋梁、河川、港灣及水道、堤防等の被害に關しては實地調査の結果道路の破損、流失及埋没三十三萬四千八十九間、橋梁の破損、流失四千四百六十五箇所、堤防の破損、流失及埋没四十三萬七千八百三十九間に及び其の被害高一千七百六十一萬八千餘圓に達したり

道別	道路			橋梁			堤防		
	破損	流失、埋没	計	破損	流失	計	破損	流失、埋没	計
京畿	二五、五三六	一四、八八八	四〇、四二四	六三	五七七	一一〇	四二、五九四	三七、三三六	七九、九三〇
忠北	三、九四一	一七、七〇八	二一、六四九	一〇〇	二四四	三四四	三九、〇〇四	三七、三三四	七六、三四八
忠南	一八、六九九	一一、一〇一	二九、八〇〇	五五四	四九九	一、〇五三	四六、八六三	三七、一一八	八四、九八一
全北	二、三三三	三、九三九	六、二七二	三三	一一〇	一四三	三〇、三二〇	三、四三三	三三、七五三
全南	五、八四六	二、三三三	八、一七九	六〇	一一三	一七三	七、四四一	一一、〇九六	一八、五三七
慶北	一、二八〇	一〇、九〇一	一二、一八一	六	三七	四三	七、八四四	七、六九九	一四、八三三
計	五〇、九七六	五〇、八〇〇	一〇一、七七六	二六八	一、三三	一、六〇一	一八〇、〇〇六	一四〇、〇〇六	三二〇、〇一二



道名	田		河川		港灣		水道		計
	浸水面積	埋没面積	浸水面積	埋没面積	浸水面積	埋没面積	浸水面積	埋没面積	
慶南	二,五九四	一,四四三	—	—	—	—	—	—	三,〇三七
江原	三六,〇五三	三〇,九二二	—	—	—	—	—	—	六六,九七五
威南	五〇,四五九	四七,五二四	—	—	—	—	—	—	九八,〇八三
計	一七九,三六八	一五四,七〇一	—	—	—	—	—	—	三三三,〇六九
道別	三三三,〇六九間		四,四六五箇所		四,四六五箇所		四,四六五箇所		三三三,〇六九間
京畿	一,五七一,六四〇	—	—	—	—	—	—	—	一,五七一,六四〇
忠北	一,二一四,五九五	—	—	—	—	—	—	—	一,二一四,五九五
忠南	七〇一,二二二	—	—	—	—	—	—	—	七〇一,二二二
全北	二〇〇,〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	二〇〇,〇〇〇
全南	四七九,四四五	—	—	—	—	—	—	—	四七九,四四五
慶北	一,五三三,五三八	—	—	—	—	—	—	—	一,五三三,五三八
慶南	四七五,五〇〇	—	—	—	—	—	—	—	四七五,五〇〇
黄海	三三二,二二〇	—	—	—	—	—	—	—	三三二,二二〇
平南	三〇〇,七〇〇	—	—	—	—	—	—	—	三〇〇,七〇〇
平北	四七五,一〇〇	—	—	—	—	—	—	—	四七五,一〇〇
江原	四,四七五,〇一三	—	—	—	—	—	—	—	四,四七五,〇一三
威南	五三六,五五〇	—	—	—	—	—	—	—	五三六,五五〇
計	九,〇一〇,〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	九,〇一〇,〇〇〇

道名	浸水面積	埋没面積	流失面積	計
威北	九〇一,〇〇〇	—	—	九〇一,〇〇〇
京城	五〇,一三一	—	—	五〇,一三一
元山府	三三,三四五	—	—	三三,三四五
計	一,〇〇〇	—	—	一,〇〇〇

耕地及農作物の被害並之に對する應急措置、善後策等左の如し

二、耕地及農作物に關する被害

(一) 耕地の被害

道名	田		河川		港灣		水道		計
	浸水面積	埋没面積	浸水面積	埋没面積	浸水面積	埋没面積	浸水面積	埋没面積	
威南	五,三三四・八	四,八一三	一,五六〇・〇	五,八七五・〇	一,九四三・七	一,三七九・三	一,一六七・四	三,〇三〇・四	二四,七八・五
江原	二,二〇〇・〇	一,五〇六・九	—	—	—	—	—	—	—
慶南	四,四三三・二	二,二八七	—	—	—	—	—	—	—
慶北	四,二七三・三	九三三・〇	—	—	—	—	—	—	—
全南	六,〇六八・五	三,一一〇	—	—	—	—	—	—	—
全北	五,七八二・三	二,四三三・二	—	—	—	—	—	—	—
忠南	四,一六三・三	三,五七一	—	—	—	—	—	—	—
忠北	四,二〇五・六	一,七三六・二	—	—	—	—	—	—	—
京城	一,八五八・七	三,五二四・六	—	—	—	—	—	—	—
計	三三,〇四三・六	一三,〇三三・九	—	—	—	—	—	—	—



咸北	130.4	48.0	15.9	194.3	262.3	19.6	15.6	297.5	392.7	67.6	31.5	491.8
合計	145,285.2	14,752.9	6,733.3	168,800.2	4,475.6	162,940.1	57,769.7	186,707.6	37,809.3	34,093.3	34,569.9	

(二) 農作物の被害  
右は被害面積(町)  
左は被害金額(圓)

道名	田										合計		
	水	陸	稻	麥	類豆	類雜	穀	棉	棉以外	蔬		菜果	樹其他
道名	水	陸	稻	麥	類豆	類雜	穀	棉	棉以外	蔬	菜果	樹其他	計
京畿	1,869,654	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
忠北	4,900.1	550	339	1,375.6	1,066.5	100.2	24.4	24.4	1,775	33.3	53.1	2,640.0	7,540.1
忠南	3,333.2	481.0	1,409	4,044.5	862.9	24.6	24.6	24.6	24.6	24.6	24.6	24.6	24.6
全北	2,354,858	124.0	115	1,082.6	4,336	54.1	208.1	1,933	268.9	268.9	268.9	268.9	268.9
全南	4,901.5	124.2	37	69.6	65.0	5.0	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
慶北	5,648.2	11	11	2,336	11	11	11	11	11	11	11	11	11
慶南	3,937.6	1,297.7	9.5	2,731.1	955.3	57.5	131.1	3,470	101.3	267.2	11	11	11
江原	5,127.7	11	11	2,966.3	3,901.8	107.2	80.4	107.2	566.2	11	11	11	11
咸南	5,870.0	288.9	49.3	1,106.7	1,537.3	70	367.7	2,540.5	149,300	2,540.5	9,497	4,950	3,100.4
合計	14,966,522	2,292.8	1,055.6	25,352.2	18,733.5	1,277.1	600.6	4,867.5	698.7	4,867.5	698.7	698.7	698.7

耕地並農作物の被害に對する應急措置の概要

埋没、浸水、流失の跡地に對しては土砂の排除、防排水の設備及再播、再植、分株、移植等を爲せり。尙被害五割以上に達したる極貧農二、一、二、四戸の被害面積八、二七町五反の中心地耕作可能なる二、四二町二反に對し蕎麥、粟の種子八十五石を地方費一、一〇七圓に購入給與せり。

浸水畜は極力排水方法を講じ退水の際莖葉に附着せる泥土の洗滌並株直を爲せり。流失及埋没地は復舊に努め所要稲苗は附近地方より融通又は既植苗より採種、分株の方法に依り植替へを爲し田に對しては再播及代用作物を播種せしめたり。貧困の爲苗の購入資力なきものに對しては苗代及運賃の補助を爲し又は代用作物の種子を購入配付せり。其の金額合計一二、四六〇圓九錢九分(地方費凶歉救済費)。

浸水畜に對しては水車又はポンプを利用して排水に努め被害稻に付ては莖葉洗滌、泥土除去、倒伏株の整理、發芽促進、ホミ打除草、硫酸肥の施用等を爲し、道は貨物自動車被害地に配送し散逸の稻苗を蒐集配送して補植に努め、其の他紫雲英及溝掘り上げ株又は減株に依る等の補植を爲し家事に右の措置に對しては被害地の小學校及普通小學校児童に臨時休業を爲し家事に從事せしめ又隣保相助の共同作用及農學校生徒も活用せしめたり。尙苗不足地に代用作物として蕎麥、豆類、蔬菜(自給)及稗(地方費より種子三十二石購入配付)を栽培せしめたり。

○沓の被害中(一)恢復の見込ある沓に對しては速効肥料を施し、ホミ打除草を爲す(二)同見込なき沓には稻苗を調達し植替へを爲し、無被害沓より稻株の移植、陸稻を沓に植替へ其の跡地に代用作物を爲す(三)其の他の被害沓

○小作地は其の被害程度に應じ地主をして小作料の減免方斡旋

○採種沓の被害に對しては無被害沓の剩餘種子を以て充當し尙不足種子に對しては翌年度に採種沓を増設することせり

○水害の爲生業を失ひ生計に窮し居る農家四六戸に對しては郡農會より以織機一臺及原料糶購入費を貸付せり(農會は道臨時恩賜金より二、三〇圓の貸付を受け之を各農家に分配したるものなり)

○翌年稲作に對する肥料自給の途なき者に紫雲英種子代の金額又は半額を補助す(地方費より三、四七五圓)

○麥の種子供給の見込なき者に對し一戸當一反歩を限度とし麥種子を無償給與す(地方費より一、八五〇圓)

○田、沓の埋没、流失、浸水に依り陸地棉及稻の全滅に歸し收穫皆無地には陸地棉種子及種籾を給與せり(地方費より四、二九〇圓)

江原

全北

忠南

忠北

咸北

咸南

江原

慶南

慶北

全南

全北

忠南

忠北

京畿

道名

合計

咸北



○田には蕎麥、黍、粟等を代用作として栽培せり  
 ○代用作の種子の配給及斡旋  
 (1)可成自給、地主よりの供給又は隣保相助に依らしむ  
 (2)自家貯蔵なきも資力あるものに對しては種子購入を斡旋せり  
 (3)種子を得る途なく又購入資力なきものに對しては道臨時恩賜金より四、  
 一九一圓二八錢を支出し蕎麥及粟の種子を購入配付せり

○圓五〇錢を支出し水稻及小麥の種子購入配付せり  
 ○副業獎勵(別途救濟實施の項に詳述す)

備考

京畿、全南、慶北、慶南、咸南、咸北各道の状況は以上各道に於ける實施状況と大同小異なるを以て之を省略す

四、山林の被害状況並應急、復舊等の措置左の如し

道別	被害状況	被害程度	應急措置	復舊事項及其の經費所要額
京畿	山崩れ十四箇郡六百十三箇所あり	山野自體直接の被害僅少な るも流下する土砂の爲下流 地方に及ぼしたる道路、橋 梁、耕地等の被害多し		砂防工事以外崩壊の復舊は 之を爲さず。田、畚の復舊 は關係者に於て之を爲す
忠北	鎮川外三郡に山腹及山麓の崩壊所々あり	林野の被害面積一二七町歩 其の損害價格六、九一〇圓	(一)砂防工事施行地區に對 しては降雨中從事職員 をして巡視せしめ被害 の防止に力を注ぎ必要 の都度應急指導を講ぜ り(京畿)	總經費三、二三二圓にて砂 防の復舊を爲す
全北	砂防工事被害面積六町八反 餘に及べり	同上被害高三、四三六圓		總經費三、二五五圓にて砂 防の復舊を爲す
慶北	軍威外三郡四箇面十箇洞に 山崩を生じ其の面積十八町 八反餘に達せり	同上崩壊の外立木の損失高 を併せ其の被害高八五一圓 なり	(二)山地の崩壊に依り道路 河川の埋没等交通に支 障ある個所に對しては 地元民の賦役に依り應 急の修理を爲す(忠北)	砂防工事費六、〇〇〇圓 造林費 三九〇圓
慶南	居昌郡内砂防設備破壊の外 梁山、東萊、蔚山の各郡に 風倒木あり	同上被害高及工事費一一、 一四四圓		造林費及谷止工事費等五 三、三七五圓
江原	被害激甚地たる寧越、原州 を始めとし麟蹄外三郡に地 を埋没、崩壊等二、七〇〇	同上の被害並林野の損害高 四七、三〇二圓	其の他の道の分は大同小異 に付省略す	

○箇所あり

咸南 平地帯に風倒木及樹枝の風折を生ぜり 被害高二、四八二圓

咸北 明川郡内各所に山腹崩壊箇所あり 被害高三六〇圓

計 八道 三十四郡三、三二四箇所 (外箇所不明の分多數あり) 七二、四八四圓

特記すべき事項なし

九一、二五二圓

三、皇恩優渥

風水害の慘狀 天聽に達するや畏くも 天皇皇后兩陛下に於かせられては痛く蒼生の窮狀に御軫念あらせられ親しく侍從海江田子爵を實地に差遣し慘害の跡を視察せしめ罹災民生の酸苦を見舞はせ給ふと共に罹災民救恤の御思召により御内帑金三萬圓を下賜せられたるは眞に 天恩鴻大恐懼感激の至りに堪へず、此の優渥なる御沙汰を拜したる本府は直に關係各道に對し災害の程度に應じ左の通配付し 聖旨の傳達を爲したり

- 一 死者及行衛不明者 各一人に付 金四圓
- 一 負傷 同 金二圓以内
- 一 家屋の流失 各一戸に付 金二圓
- 一 同 全潰 同 金一圓五十錢
- 一 同 半潰 同 金一圓以内
- 一 船舶の流失、沈没及行衛不明 各一隻に付 金二圓
- 一 同 破損 同 金一圓以内

各道別總額



京畿道	一、三六六圓	忠清北道	七三五圓
忠清南道	一、三六六圓	全羅北道	三、九九〇圓
全羅南道	一九五圓	慶尙北道	四、二五七圓
慶尙南道	二、七二三圓	江原道	一、二、四〇五圓
咸鏡南道	二、八二〇圓	咸鏡北道	一四三圓
計	三〇、〇〇〇圓		

右關係各道に於ては直に夫々配分したるが罹災民は孰れも 天恩の無窮に感激せざるものなし

#### 四、罹災者の救助

##### 一、直接救助

水害激甚の報告に接するや直ちに其の最も慘害を蒙りたる江原、慶北、全北、忠南の各道に對し直ちに本府職員を被害地に派遣し災害地の實況を調査すると共に罹災民生の苦痛を慰め尙道、郡、面竝に警察官憲、地方有志、消防組、青年團等を指揮協力して罹災者の救護に努め隨所に炊出救助をなし或は傷病者の救療を開始する等應急措置を講ずるの外關係各道は自己の管理せる道地方費凶歉救濟費、臨時恩賜金基金編入金繰戻金及本府管理中の恩賜罹災救助基金の救助費並國庫補助金等を以て焚出費、食糧給與費、死者及行衛不明者の遺族に對する弔慰金、負傷者の見舞金、小屋掛費、船舶の罹災に對する見舞金、種苗費等を左の計劃に依り支給し救助の遺憾なきを期したり

死者及行衛不明者の弔慰金 一人に付 三〇圓以内  
 負傷者の見舞金 同 一〇圓以内

小屋掛費 (住家の流失) 一戸に付 一五圓以内  
 同 (同 全潰) 一戸に付 一〇圓以内  
 同 (同 半潰) 同 五圓以内  
 船舶被害の見舞金(流失、沈没) 各一隻に付 一五圓以内  
 同 (破損) 一隻に付 一〇圓以内

##### 道別の救助費所要額

道別	焚出費	食糧給與費	死亡、行衛不明、負傷者の弔慰見舞金	小屋掛費	船舶罹災見舞金	種苗費	計
京畿	四、六四六圓	一五〇圓	一、五五〇圓	九、五四五圓	—	二、〇〇〇圓	一七、九六一圓
忠北	二五二	三五	九〇	三、一〇	—	一、一〇	五、六七七圓
忠南	一、一〇〇	—	一、一〇	七、三三	—	一〇、〇〇	一九、六四五圓
全北	二、六三六	—	一、六一〇	一〇、一三五	—	一、二〇〇	三三、一三一圓
全南	一六	—	—	—	—	—	一六
慶北	七九一	二、四七二	六、五〇〇	六、一一〇	二、一九五	一四三	二七、九九九圓
慶南	二〇〇	—	五、三三〇	七、六一〇	八、一九〇	—	二二、〇〇〇圓
江原	五、七七七	—	三、四一〇	三、〇九〇	一〇、八〇〇	五、〇〇六	二二、〇〇〇圓
咸南	一、二六九	二、四四四	四、六六〇	一、〇〇〇	二、八五五	—	二二、〇〇〇圓
咸北	—	五〇〇	—	—	—	—	五〇〇圓
計	一六、七三六	三、三五一	五、六二〇	一〇、〇〇五	三、八〇〇	三、五五九	三三、七六一圓



以上救助費所要總額  
之に對する支出財源

道地方費凶歉救濟費	六二、五〇九圓
臨時恩賜金基金編入繰戻額	六二、五〇二圓
大正十四年水害義捐金殘	四、一七五圓
恩賜罹災救助基金の救助費及基金繰入中止額	三九、八五一圓
國庫補助金	九五、七四五圓
計	二六三、七八二圓

以上の計畫に基き極力罹災者の慰撫救恤に努め土木の被害に對しては差當道路、橋梁及河川中運輸交通上緊急差置き難きものみに付二十四萬五千圓の工費を投じ應急施設を爲したり尙漁船の被害に對しては前記見舞金の外自力復興の能力なき者に對し漁船復舊費として漁業組合自己資金貸付金、同組合起債(大藏省預金部より三十五萬圓の低利資金の融通を受け)に依る貸付金、地方費貸付金及地方費、國庫等の補助金計九五四、三七二圓を以て左表の通り被害各道に割當ることとせり

支出	區 分 別				計
	慶尙南道	慶尙北道	江原道	咸鏡南道	
漁船復舊所要額	一一、五九九	三〇、九一九	四三、二〇〇	一〇六、六〇〇	九四、三三二
漁業組合自己資金貸付額	三六、五五九	五〇、三二〇	八、〇〇〇	一六、〇〇〇	一一六、八三三
漁業組合起債に依る貸付額	五〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	七三,三三八	三五三,〇三八
地方費貸付額	—	—	七,〇〇〇	—	七,〇〇〇
地方費補助額	一四,〇〇〇	一三,六〇〇	九,八〇〇	九,二〇〇	四六,六〇〇

財源	補助額			
	國費	自己出資金	計	備考
國費	一〇,〇〇〇	—	一三,六〇〇	二四,一五七
自己出資金	—	九四,八〇三	九四,八〇三	六,八三三
計	一〇,〇〇〇	九四,八〇三	一〇四,八〇三	三〇六,九九〇

備考 (1) 本表中國庫補助は財政の關係上實現を見るに至らず  
(2) 右關係各道に對しては慘害後既定漁船獎勵補助金全部を災害復舊としての漁船建造費に對し補助を爲し就中被害激甚たる江原道に對しては他道の補助費殘額六、六七五圓を振替へ増額し以て内地型十九隻、朝鮮型三十六隻計五十五隻の復舊に資せり

### 二、間接救助

右應急的直接救助を施すと共に罹災後に於ける各般の復舊並罹災民に對し自活の途を與ふる爲勞銀撒布に依り生計の安定を得せしめんとし地方費及國費を以て昭和五、六兩年度に亘り總工費百十九萬餘圓を投じ左の工事を實施することとせり

### 災害復舊工費

工 種	工費總額	昭和五年度		昭和六年度	
		直轄工事	補助工事	直轄工事	補助工事
河道	三三、〇〇〇	一五、五〇〇	一七、五〇〇	一三、九〇〇	—
河川	三三、〇一〇	—	—	一三、〇〇〇	—
港灣	一〇〇,〇〇〇	—	—	—	—
漁港	一、二〇〇	—	—	—	—
水道	一七,〇〇〇	—	—	—	—
事務費	五,〇〇〇	一六,五〇〇	—	三,五〇〇	—



計

一、一九四四

三五、〇〇〇

三四、一五〇

五二、六三二

一六

備考

補助工費中昭和五年度三四四、一五〇圓は國費補助三一三、六二〇圓、地方費負擔三〇、五三〇圓にして昭和六年度八

八、六七〇圓は國庫補助六九、四三六圓、地方費負擔一九、二三四圓なり

總工費百十九萬九千餘圓の七割を勞銀として撒布せらるるも約八十三萬九千餘圓に達すべし

### 五、義捐金品の募集と分配

今回の風水害は朝鮮未曾有の慘害にして其の慘狀實に見るに忍びざるものあり罹災民の窮狀洵に同情に堪へざる處にして共に其の不幸を頌つは社會人類の義務なりとし本府は財團法人朝鮮社會事業協會をして罹災直後罹災民救助義捐金募集の計畫を樹立せしめたり協會は直に各道の支部と相呼應し罹災民の慘狀を廣く江湖の同情に訴へ義捐金の募集に着手するや一般同情は翕然として之に集り朝鮮内は勿論遠く内地、滿洲等より續々として出捐の申出であり募集計畫發表後一箇月にして五萬圓を突破し更に一箇月を経たる募集締切日即ち九月二十日に於て其の額十二萬二千餘圓に達し締切後に於ける申込者亦相當多く昭和六年五月末迄同協會本部及各支部に於て蒐集したる總高十六萬四千餘圓に達したり其の内譯左の如し

#### ○義捐金取扱別

財團法人 朝鮮社會事業協會	六二、七〇〇圓七二錢
同 京 畿 道 支部	三〇、七〇八圓三五錢
同 忠 清 北 道 支部	二、〇〇五圓一七錢
同 忠 清 南 道 支部	二、九七一圓二〇錢
同 全 羅 北 道 支部	一五、九一五圓〇〇錢

同 全 羅 南 道 支部	六、二二〇圓四二錢
同 慶 尙 北 道 支部	七、一四六圓二四錢
慶 尙 南 道 社會事業協會	七、三六八圓〇九錢
朝鮮社會事業協會黃海道支部	四、五五九圓〇二錢
同 平 安 南 道 支部	六、一三七圓五八錢
同 平 安 北 道 支部	六、九〇〇圓〇〇錢
同 江 原 道 支部	二、八八九圓五八錢
同 咸 鏡 南 道 支部	五、八〇一圓〇〇錢
同 咸 鏡 北 道 支部	三、二八六圓五九錢
計	一六四、六〇八圓九六錢

#### 同協會本部取扱金内譯

鮮内各官公署より出捐せるもの	一二、二六七圓二九錢
同 各銀行、會社、個人より出捐せるもの	一五、九一五圓三三錢
内地、滿洲等の鮮外より出捐せるもの	三四、五一八圓一〇錢
計	六二、七〇〇圓七二錢

右の通り蒐集せる義捐金は相當額に達する毎に各道災害の程度に應じ之を分配せり其の分配回数及金額左の如し

#### 第一回分配額

(自昭和五年十月七日  
至十二月十一日)

道 別

京 畿 道 四、六一二圓

忠 清 北 道 二、一八六圓

#### 第二回分配額

(昭和六年一月十三日)

道 別

京 畿 道 八、六一二圓

忠 清 北 道 二、一八六圓

計

一七



忠清南道	四、四四三圓	一八
全羅北道	一五、九一五圓	一五、九一五圓
全羅南道	一、二三七圓	一、二三七圓
慶尙北道	一八、〇六六圓	三〇、八二九圓
慶尙南道	六、三八二圓	七、三六八圓〇九錢
江原道	四二、八四八圓	六〇、八四八圓
咸鏡南道	一三、八三七圓	二三、二八七圓
咸鏡北道	一、五一九圓	一、五一九圓
計	一一一、〇四五圓	一五六、二四四圓〇九錢
前記募集總額	一六四、六〇八圓九六錢	
差引殘	八、三六四圓八七錢	
外預金中の利子(協會本部の分)	五三一圓三三錢	
計	八、八九六圓一九錢	

右分配殘額八、八九六圓一九錢は他日に於ける災害の際應急的救助費に充當すべく同協會に於て保管しつゝあり

○義捐品(衣服)の取扱

- 一、京城淑明女子高等普通學校々友會扱
  - 一、五〇〇點
  - (在京城矯風會朝鮮支部の提唱に依り總督、政務總監の婦人を始め婦人無名會、京城組合教會婦人會、日本基督教會婦人會、友の會、ロータリー俱樂部員、小林源六氏夫妻、淑明女子高等普通學校々友會に於て經費と勞力を提供し作製したるもの)

一、朝鮮日報社扱

三六三點

(京城乾鳳寺中央布教所、佛教女子青年會、黃海道金川郡好賢面碧波里金召史及無氏名等の寄贈に依るもの)

一、愛國婦人會朝鮮本部扱

一〇點

(同會全羅南道羅州委員部より送致したるもの)

一、中外日報社及平安南道平原郡廳扱

八一點

計

一、九五四點

右衣服類一千九百五十四點を以て被害甚だ激甚たる江原、慶北、咸南の三箇道に對し左の通り分配せり

江原道へ	一、四五四點
慶尙北道へ	三〇〇點
慶尙南道へ	二〇〇點
計	一、九五四點

六、救濟實施計畫

各道に於ける救濟計畫中被害程度の最も甚大なる江原道の救濟實施計畫を摘記し以て他日の參考に資せんとす

救濟事項	所要經費	摘
弔慰金	二六、七五〇圓	死亡及行衛不明者一、〇七〇人に對する弔慰金 一人當り二五圓
治療費	七、二三〇	負傷者七二三人に對する治療費 一人當り一〇圓
焚出費	五、五五二	罹災直後各郡平均七日間の焚出を爲せり一人一日に付八錢 九、九一四人分



小屋掛費	三七、二六五	〔家屋流失一戸に付十五圓 一、五八七戸分 計二三、八〇五圓〕
船舶復舊費	一一、七四五	〔同全潰 同 十圓 一、六八九戸分 計六、八九〇圓〕
種穀費	七、三五〇	〔同半潰 同 五圓 一、三一四戸分 計六、五七〇圓〕
食糧費の一	二二、〇六六	〔漁船の流失沈没各一隻に付 十五圓 二、六九九隻 計四、〇三五圓〕
食糧費の二	三九、七二八	〔同破損 同 十圓 七七一隻 計七、七二〇圓〕
器具復舊費	一八、五六〇	〔被害面積中種穀自辨の能力なき九八〇町に對し種穀四九〇石を給與す 石價十五圓〕
漁具購入費	二四、六四〇	〔鰥寡孤獨にして勞働に従事し得ざる者に對し一日男八錢(十二歳以下は四錢)女六錢五厘(十二歳以下三錢五厘)十一箇月分〕
製筵獎勵費	三〇、〇〇〇	〔從事すべき勞働なく生活に窮する期間二箇月前同様の救助を爲す〕
叭獎勵費	三一六	〔家屋の流失に對し各一戸に付十圓 一、五八七戸分 計一五、八七〇圓〕
蠶業獎勵費	二〇、八〇〇	〔漁船の亡失に對し 又は一隻に付十圓 二、六九九隻分 計二、六九〇圓〕
畜牛費	一〇、〇〇〇	〔獎勵戸數一、〇〇〇戸に對し製筵機購入費一、〇〇〇圓、製繩機購入費六六〇圓を支給し二萬圓の運轉資金を以て其の製品を買上げ倉庫に保管し適當の時機に於て之を賣却す倉庫建設費八、二〇〇圓〕
移住費	三五、六五四	〔獎勵戸數三一六戸に對し(價格一圓)を支給す〕
計	二九七、六五六	〔獎勵戸數一、一六一戸に對し蠶種一、二五五枚を掃立てしむ(種子代一枚に付一圓)耕牛なき者五〇〇戸に對し犢一頭二十圓のものを配付し二箇年後半額十圓を徴收す(内譯後出)〕

右計劃に對する財源

道地方費凶歉救濟費	七、二八九圓
臨時恩賜金基金編入金繰戻	一一、三七七圓

國庫補助金	九五、七四五圓
恩賜罹災救助基金補助	四、六九四圓
社會事業協會支給の義捐金	六〇、八四八圓
計	一八〇、九五三圓
差引不足	一一六、七〇三圓
右不足額	一一六、七〇三圓に對しては江原道水害救濟會の義捐金二十萬圓(社會事業協會より支給したる前記義捐金六萬餘圓を含む)を以て充當する計劃なり

罹災者移住狀況

江原道に於ては被害尤も激甚なりし寧越郡水周、兩邊兩面の罹災者中特に慘害を蒙り其の地に在りて再興の途なき者に對し此の際根本的救濟策を施し生計の安定を圖ると共に一面同地方に於ける當時の大慘害が火田民の冒耕に依る地亡に原因せるに鑑み治水上、又林政上の禍根たる火田の整理促進に資せん爲左記の通移住を實施せるものなり

一、移住民の移轉

現住地に於て移住者を區分し十戸内外を一團とし之に團長を置き團體一切の世話を爲さしめ郡面職員引率の上移住を爲せり			
區分	第一回移住	第二回移住	計
前住地の郡、面、洞里	寧越郡水周面	寧越郡兩邊面	一郡三箇面、十三箇洞里
	法興里 月現里 桃源里 雲鶴里	酒泉里 桃川里 釜谷里 雲鶴里 新川里	板雲里 龍谷里 講林里 斗山里







家 具 費	釜、洗面器、井、勘寺、チヤバキ、火鉢、瓶、ビール瓶、牛飼養釜 一戸當四圓二〇錢	五四六	同上 (一戸當四圓六〇錢)	三二二	八六八
耕牛及犁購入費	郡畜産組合及農會、地方有力者と謀り預託牛の斡旋、耕牛購入資金の融通等に對し一戸當八圓餘の補助	一、一二五	郡畜産組合ニ一、二〇〇圓寄附し耕牛二頭を購入し移住民に無料預託を爲さしむ犁の給與費、牛餌料給與費	一、三八〇	二、五〇五
井戸建設費	一箇所一五〇圓四箇所分團長又は組長農事指導員等の手當	六〇〇	一箇所一二五圓二箇所分	二五〇	八五〇
指導員手當		一三〇	同上	七七〇	九〇〇
住宅敷地購入費		四〇〇		一	四〇〇
事務所建築費		三〇〇		一	三〇〇
肥料代		一		一	六八二・五〇
開墾費補助		一		一	六八二・五〇
分割測量又は區劃整理費		一四〇		一	四九五・〇〇
引率者旅費其他醫療雜費		九一四		一	四九五・〇〇
計		三三、〇二〇		一三、六三四・二〇	一九〇・〇〇
					七三二・七〇
					一、六四六・七〇
					三三、六三四・二〇
					三五、六五四・二〇
					(一戸當平均一七八圓二〇錢)

右支出經費財源  
江原道災害救濟會募集の義捐金 三五、六五四圓二〇錢

○ 附 録

一、義捐金百圓以上寄附者調 (社會事業協會本部扱申込順)

金額	住所	氏名
二〇〇・〇〇	京城	三井物産會社員一同
三〇〇・〇〇	同	金光教管長 金光家邦
一〇〇・〇〇	同	第一銀行京城支店行員一同
一〇〇・〇〇	同	京城 醫師會
二〇〇・〇〇	同	韓一銀行員一同
三〇〇・〇〇	同	大阪朝日新聞社京城支局
一一九・一〇	同	總督府官房會計課職員一同
二、五〇〇・〇〇	同	京城銀行集會所加盟京城會社團
二、五〇〇・〇〇	同	京城組合銀行
一〇〇・〇〇	同	京城基督教聯合會
一二〇・〇〇	同	西大門刑務所及所屬官署職員一同
一〇〇・〇〇	同	京城石村法光院婦人會
一七七・三〇	同	總督府山林部職員一同
一六二・一〇	同	京城地方法院職員一同
二三七・二〇	大邱	大邱地方法院及所屬官署職員一同
一、二〇一・五五	京城	總督府鐵道局職員一同



四三七・九〇 京城  
 一二八・二〇 同  
 一一九・七〇 同  
 一一一・五〇 忠清南道大田郡  
 二五三・一五 京城  
 一〇〇・〇〇 同  
 一〇〇・〇〇 同  
 一〇〇・〇〇 山形縣  
 一〇〇・〇〇 京城  
 二〇〇・〇〇 同  
 一〇二・六〇 仁川  
 一四一・三〇 釜山  
 一三三・二〇 水原  
 一二七・〇〇 京城  
 三〇〇・〇〇 同  
 一一二・六〇 釜山  
 四〇六・三〇 京城  
 一〇六・四〇 全州  
 一八二・九〇 忠清南道大田郡  
 二五〇・〇〇 京城

總督府中樞院職員一同  
 總督府土地改良部職員一同  
 總督府鐵道局京城工務事務所員一同  
 總督府鐵道局大田工務事務所員一同  
 總督府殖產局職員一同  
 京城ロータリー俱樂部  
 福德無盡株式會社  
 鈴木千代太郎  
 朝鮮郵船株式會社  
 東洋拓殖株式會社京城支店有志一同  
 仁川稅關及所屬官署職員一同  
 釜山稅關及所屬官署職員一同  
 總督府農事試驗場職員一同  
 朝鮮銀行職員一同  
 京城帝國大學職員一同  
 總督府鐵道局釜山工務事務所員一同  
 總督府專賣局及京城、平壤支局並所屬官署職員一同  
 總督府專賣局全州支局及出張所職員一同  
 總督府鐵道局大田運輸事務所員一同  
 曹洞宗管長 秋野孝道

三六五・五五 平壤  
 一〇〇・〇〇 京城  
 三〇〇・〇〇 同  
 一四六・一一 同  
 一三一・六〇 同  
 一、〇〇五・一九 同  
 一一五・〇〇 同  
 四四〇・五五 同  
 一〇〇・〇〇 同  
 一〇〇・〇〇 同  
 一〇〇・〇〇 同  
 一六八・七四 平壤  
 一五七・〇〇 京城  
 一一三・三〇 大邱  
 一、〇〇〇・〇〇 京城  
 五〇〇・〇〇 同  
 二〇二・五〇 海州  
 一六五・〇〇 東京  
 一八七・二〇 京城  
 一五、〇〇〇・〇〇 南滿洲  
 一二七・七〇 京城

總督府鐵道局平壤運輸事務所員一同  
 朝鮮土地改良株式會社職員一同  
 尹 致 昊  
 總督府警務局職員一同  
 總督府學務局及所屬官署職員一同  
 總督府學務局及所屬官署職員一同  
 朝鮮商業銀行友會京城支部員一同  
 總督府鐵道局京城運輸事務所員一同  
 閱 大 植  
 朝鮮生命保險株式會社  
 總督府鐵道局平壤工務事務所員一同  
 京城帝國大學法、文學、醫學部職員一同  
 總督府大邱專賣支局職員一同  
 齋 藤 總 督  
 兒 玉 政 務 總 監  
 海州學友會及碧城女子青年會  
 帝國鐵道協會有志會員  
 總督府內務局職員一同  
 南滿洲鐵道株式會社  
 京城醫學專門學校職員一同



一〇〇・〇〇	同	京城
一〇〇・〇〇	同	京城
一〇〇・〇〇	同	京城
一四〇・〇〇	東	京城
一〇〇・〇〇	東	京城
一八五・五〇	釜	山
三〇一・八四	清	津
三〇〇・〇〇	大	連
一、〇〇一・六九	京	都
六〇〇・〇〇	東	京
三五〇・〇〇	橫	濱
一八二・二〇	水	戸
八、〇〇〇・〇〇	東	京
四二九・〇〇	福	島
三三六・五八	靜	岡
四、八五九・〇九	北	海
一〇三・四〇	香	川
六三三・七五	岡	山

朝鮮貴族會  
南軍司令官  
京城吳服商組合有志  
東洋拓殖株式會社總裁  
天主教教青年會聯合會  
中央朝鮮協會  
總督府鐵道局釜山運輸事務所員一同  
總督府鐵道局清津出張所員一同  
大連市有志一同  
京都市  
財團法人相愛會館  
橫濱市  
茨城縣  
東京府  
福島縣  
靜岡縣  
北海道社會事業協會  
香川縣  
岡山縣

六、三四一・三六  
五〇〇・〇〇  
計五七、九三九・八五

同 京城

愛國婦人會朝鮮本部  
日本赤十字社朝鮮本部

一、各地の雨量

(仁川觀測所の電話又は總督府官報に依る)

(單位は耗)

六月下旬迄の雨量

地	方	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	計
京城	城	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
仁川	川	二	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
木浦	浦	一	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
全州	州	一	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
大邱	邱	一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
釜山	山	四	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
平壤	壤	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
龍浦	浦	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
江陵	陵	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
元山	山	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
雄基	基	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
中江	江	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
計		三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

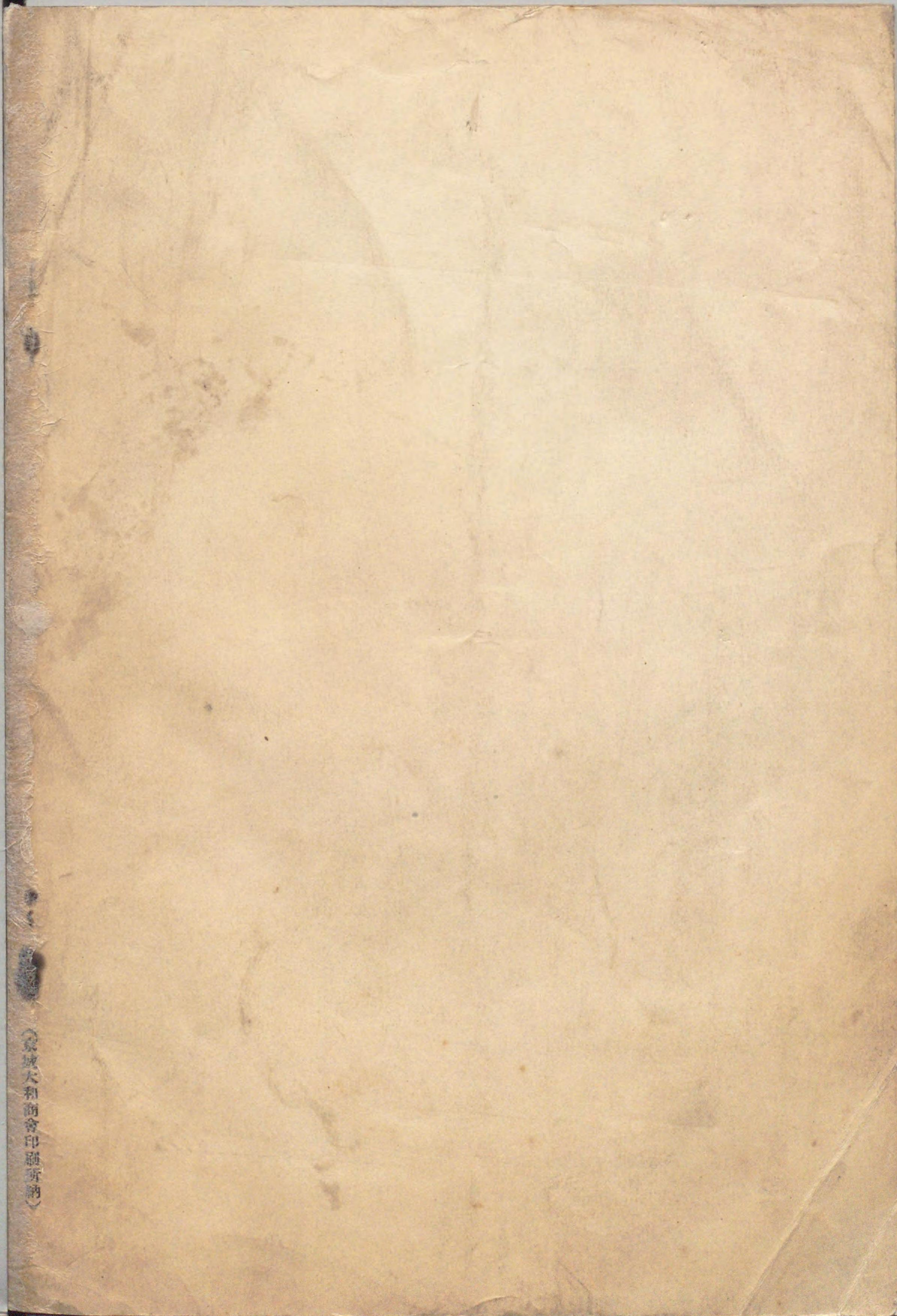












（京城大和商會印刷所納）